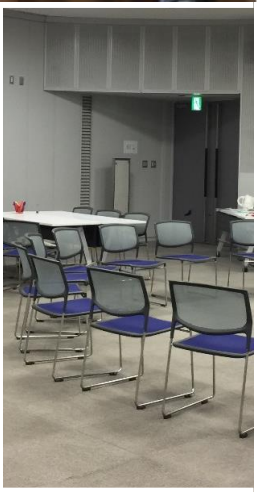
SOCIAL ACTY

一人ひとりが生き生きと生活できる社会の実現を目指しています。

ANNUAL REPORT 2017



まちづくり＆組織の活性化
ファシリテーション

◆ What's Social acty？ ◆

「一人ひとりがいきいきと生活すると集団や組織もいきいきしてくる。
そして、社会全体もいきいきとしてくる。」
そんなことを願っています。
そのためには、一人ひとりが持っている能力が発揮できること。
それを引き出すお手伝いをしたいと考えています。
Facilitationは、引き出す、容易にする、という意味があります。
能力を引き出す、やる気を引き出す、成果を引き出す。
まちづくりも組織も社会も楽しくなりますね。
ご興味がある方はお気軽にお問い合わせください。

ソーシャル・アクティ

2017年ふりかえり

2016年に引き続き、対話の場をデザインし、ファシリテートする
機会に恵まれました。
2017年は、新しい対話の場づくりにも挑戦し、手ごたえを感じました。
今後、活用していきたいと考えています。
対話の場で語られたことが、参加した方々によって、
少しずつですが参加者も増えつつ実現に向けて歩き出しています。
また、多様性にも着目する年でもありました。
2018年は、「まちの中にある多様性」を意識していこうと考えています。
まちに関わるさまざまな人々の声を反映できるよう取り組んでまいります。

対話

ワールドカフェを中心にした
対話の場をファシリテート

- フューチャーセッション
- 子どもと大人の合同ワークショップ
- 経営方針プラン会議
- 未来茶輪など

MAIL social-acty@m4.catvmics.ne.jp
HP http://social-acty.com
TEL 0564-53-0370

株式会社ソーシャル・アクティ
代表取締役　林 加代子

R&D

Resarch & Development

- Resarch
- ベストプラクティス賞受賞
- 防災の啓蒙
- 学会報告
- アクティブ・ラーニング
- Development

多様

さまざまなステークホルダーの
意見を聴く場をファシリテート

- 新庁舎整備（お出かけワークショップ）
- ブラインドワーク
- カミーノ推進ワークショップ
- 女性のボウサイまちづくり会議
- 子ども会議

・防災・減災について対話する場を数多く設けました。
子どもが考える防災でも意見交換は大切でした。
・次年度の方針を考える住民会議で、
いろいろな分野についての　意見交換をしました。
・対話を中心に広域の自治体ができることを考えました。
意見交換から実現に向かっています。

・学会報告をしました。その中の一つが、
「ベストプラクティス賞」に表彰されました。
・もう始まっているアクティブ・ラーニング。
小学生の先生に　ファシリテーションを
お伝えしています。
・アクティブ・ラーニングで租税教室を行いました。

・女性も子どももまちづくりに参加してほしいと、
いろいろな ステークホルダーの方に集まっていただきました。
・障がいのある方、外国籍の方のご意見も反映できるよう
企画・　実行しました。
・日常の中の身近な防災について考え、広報しています。